

令和5年度 第2回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

1	会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
2	日時	令和5年9月21日(木) 午後7時00分から午後8時10分まで
3	会場	本庁舎 4階 大会議室
4	出席者	佐藤委員、細萱委員、高橋委員、浅川委員、出井委員、 横内委員、寺島委員、寶委員
5	担当課出席者	吉田保健医療部長、障がい者支援課 宮澤係長 高齢者介護課 岩原係長、太田歯科衛生士 健康推進課 渡邊課長、小林センター長、小松係長、市川係長 宮沢副主幹、中村主査、白山歯科衛生士、石川歯科衛生士、関根歯科衛生士
6	公開・非公開の別	公開
7	会議概要作成年月日	令和5年10月5日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 委員の委嘱
- (3) 保健医療部長あいさつ
- (4) 委員紹介
- (5) 新部会長の指名
- (6) 部会長あいさつ
- (7) 協議事項
 - ①安曇野市健康づくり計画（第3次）素案について
 - ②その他
- (8) 閉会

2 協議事項の概要

- ①安曇野市健康づくり計画（第3次）素案について

【主な意見】

(委員)

歯科健診の受診者増加のための新たな取り組みについて、具体的なイメージはあるか。

(事務局)

厚生労働省から来年度より20歳、30歳の歯科健診拡大という話が出てきているため、歯科医師とも相談しながら、市の方でも事業を検討・拡充し、受診者増加につなげたい。

(委員)

「3歳児で4本以上のむし歯を有する者の減少」の目標値0%とは、どのような解釈か。

(事務局)

国としては、むし歯を有する者をなくすという大きな目標を掲げている。むし歯を有する者を完全になくすことは大変難しいことだが、0%に近い数字を目指して取り組みを進めていきたい。

(委員)

広報等での周知の機会を増やしてほしい。子どものむし歯数は減少しており、非常に良い状態であるが、20代以降は、歯に対する関心の薄さが見られるため、20歳、30歳の個別歯科健診を検討してほしい。

(委員)

「12歳児でむし歯のない者の増加」の目標値は、学校現場からはハードルが高いと感じる。今後市として新たな乳幼児期の取り組みを考えているか。

(事務局)

市としても難しい目標値となっている。むし歯が4本以上ある子どもは、歯科だけでなく、家庭全体における課題を抱えた家庭が多い傾向のため、むし歯になりやすい家庭を多職種で支援し、12歳に向けてむし歯のない子どもを増加させたい。

(委員)

定期歯科受診の重要さや、歯周病と全身疾患の関係について今後広く伝えていきたい。

(委員)

各医院で定期歯科受診している人は、市の健診を受診しないと「年に1度歯科受診をしている者」としてカウントされない。今の把握状態で60%という目標値に意味があるのか。また、「歯が19歯以下の者の割合の減少」を10年で達成するためには、現在30代の人数だけの変動のため、可能な数値なのか確認していただきたい。

(委員)

「歯科健診の受診者の増加」に対して、国の数値と乖離がある。受診率を上げるための方策を何か考えているか。

(事務局)

各医院で定期歯科受診している人数が入らないため、受診者の全体数を把握できていない。目標値については、国の目標値達成は難しいことから60%となっている。委員からの意見を元に再度検討していきたい。

(委員)

きめ細やかな指導の機会を設けられる健康づくり施策をもっと取り入れていただきたい。

(事務局)

昨年度より国保特定健診の場で歯科保健指導を実施している。今後も多職種で連携しながら取り組んでいき、より良い結果が出ることを期待している。

(委員)

子どもを持つ保護者への指導の機会が少ないと感じる。健診未受診者の把握や、仕事で歯科受診できない人への対策を考えてほしい。また、若年者健診は個別健診にならないのか。

(事務局)

若年者健診以外は個別健診に変わり、以前より受診しやすい体制が整っている。若年者健診は体の健診と併せて歯科健診を実施できる上、国保だけでなくすべての人が受診できることから、普段歯科健診を受けられない若い年代が受診できる貴重な機会となっている。

2 その他

(事務局)

今後の部会スケジュールについて説明。

